

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和55年6月17日

第11報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece nidulans*</i>	160		
(藍) <i>Lyngbya limnetica*</i>	20		
(藍) <i>Raphidiopsis</i> sp.*	20		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1520	◎	
(珪) <i>Synedra rumpens</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	260		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	40		
(緑) <i>Hormidium</i> sp.	20		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	400		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	○	
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	100		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	200		○
(藍) 藍藻綱	180	5.3	0.6
(黄) 黄緑藻綱	20	0.6	0.5
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1520	44.7	6.2
(珪) 珪藻綱	20	0.6	0.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	7.6	7.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1400	41.2	85.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3400	総体積	6.35E+06
種 類 数	12	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

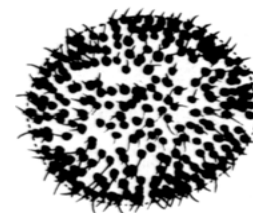
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Uroglena americana</i>	1520

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻綱

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。